

令和元年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(平成30年度分)

令和元年8月

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検及び評価の対象事業	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 平成 30 年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	6
III. 外部評価委員の意見	8
1. 総括	8
2. 教育委員会の活動について	8
3. 事務事業の点検・評価について	8
4. 今後の事務事業の企画運営にあたって	10
IV. 点検及び評価対象事業一覧	11
V. 事務事業点検・評価調書	12
整理番号 1 ～ 36	

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月 1 日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 30 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

平成 30 年度に実施した朝日町教育委員会所管 36 事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は 100%となっています。また、本年度は第 2 次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3 名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
熊 谷 昌 彦	有 識 者
高 橋 さだ子	有 識 者

II. 平成 30 年度 教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

職	氏 名	備 考
教 育 長	小 林 道 和	
委 員	児 珠 孝 童	職務代理者
委 員	五十嵐 義 一	
委 員	井 上 幸 弘	
委 員	村 山 千 鶴	

2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成 30 年 4 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 平成 30 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 平成 30 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 平成 30 年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 平成 30 年度朝日町成人式について ⑥ 第 63 回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 平成 30 年度中学生海外派遣事業の応募状況について
	附議	議第 8 号 平成 30 年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第 9 号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第 10 号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館 運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並び に朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第 11 号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について 議第 12 号 朝日町文化財保護委員の委嘱について 議第 13 号 朝日町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則に ついて 議第 14 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 小学校教科用図書選定に係る西村山地区教科用図書採択協議会への委任及 び委員の指名について 4. 平成 30 年朝日町教育委員会 5 月定例会の日程について
平成 30 年 5 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 平成 30 年度 6 月補正予算の概要について ② 平成 30 年度西村山地区中学校駅伝競走大会結果について ③ 平成 30 年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ④ 平成 30 年度海の子山の子交流事業（海の集い）について ⑤ 平成 30 年度教育委員会関係工事等の予定と状況について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
	附議	議第 15 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 平成 30 年朝日町教育委員会 6 月定例会の日程について
平成 30 年 5 月 25 日 総合教育会議	協議	1. 山形県朝日町教育大綱の見直しについて 2. コミュニティ・スクールについて 3. 意見交換
平成 30 年 6 月 26 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度 N R T 検査結果について ② 平成 30 年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 平成 30 年度朝日中学校 2 年生「職場体験」について ④ 平成 30 年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ⑤ 第 21 回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑥ スクールバスの運行について ⑦ 町民プールについて
	協議	1. 平成 30 年度西村山市町教育委員会連絡協議会理事の選出について 2. 平成 30 年朝日町教育委員会 7 月定例会の日程について
平成 30 年 7 月 17 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度朝日町小学校水泳競技記録会の結果について ② 平成 30 年度朝日町教育研究所夏季研修会について ③ 平成 30 年度教育支援委員会について ④ 平成 30 年度小中学校運動会の日程について
	附議	議第 16 号 平成 31 年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 平成 30 年朝日町教育委員会 8 月定例会の日程について
平成 30 年 8 月 27 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度 9 月補正予算の概要について ② ジュニア駅伝、クロスカントリー大会の結果について ③ 中学校総合体育大会 (県・東北・全国大会) のについて ④ 工事等発注状況について ⑤ 平成 30 年度朝日町立小中学校運動会等への出席について
	附議	議第 17 号 平成 30 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価 (平成 29 年度分) について
	協議	1. 平成 30 年朝日町教育委員会 9 月定例会の日程について
平成 30 年 9 月 26 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 30 年度全国学力・学習状況調査及び山形県学力等調査について ② 平成 30 年度第 60 回県こども絵画展及び第 73 回県総合美術展 (県美展) 入賞・入選について ③ 平成 30 年朝日町青少年健全育成町民大会・「あさひ教育の日」

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
		記念講演会について ④ 第35回アップル町民駅伝競走大会について
	附議	議第18号 平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議第19号 朝日町体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	協議	1. 平成31年度実施計画について 2. 平成30年朝日町教育委員会10月定例会の日程について
平成30年 9月26日 総合教育会議	協議	1. 町議会意見書について 2. 町PTA連合会からの小中学校教室へのエアコン設置の要望について 3. 平成31年度実施計画について 4. コミュニティ・スクールの状況について 5. 意見交換
平成30年 10月25日	附議	議第20号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について
定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 第2回学校運営協議会について ② 第35回アップル町民駅伝競走大会の結果について ③ 平成30年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ④ 第21回ひめさゆり俳句大会入選結果について ⑤ 第54回朝日町芸術文化祭について
	協議	1. 平成30年朝日町教育委員会11月定例会の日程について
定例会 平成30年 11月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第65回西村山地区駅伝競走大会の結果について ④ 第35回山形県女子駅伝競走大会の結果について ⑤ 第39回女性まつりの開催について ⑥ 区域外就学の許可について
	協議	1. 平成30年朝日町教育委員会12月定例会の日程について
平成30年 12月21日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書への回答について ② 平成30年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 平成31年度予算要求概要について ④ 第21回ひめさゆり俳句大会の作品集について ⑤ 山響ホリデーコンサート in 朝日町について ⑥ 第31回朝日町生涯学習推進大会について
	協議	1. 平成31年朝日町教育委員会1月定例会の日程について
平成31年 1月22日	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
定例会		<ul style="list-style-type: none"> ① 平成 31 年度特別支援学級への入級について ② 第 31 回朝日町生涯学習推進大会について
	協議	<ul style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 朝日町における運動部活動の在り方に関する方針（案）について 3. 平成 31 年朝日町教育委員会 2 月定例会の日程について
平成 31 年 2 月 20 日 定例会	報告	<ul style="list-style-type: none"> 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 平成 31 年度朝日町一般会計当初予算について ② 平成 30 年度朝日町体育協会表彰受賞者について ③ 平成 30 年度朝日町小学校スキー記録会結果について
	附議	議第 1 号 朝日町いじめ防止基本方針の改定について
	協議	<ul style="list-style-type: none"> 1. 朝日町いじめ防止等対策の推進に関する条例（案）について 2. 朝日町立小中学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 3. 朝日町立公民館等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 4. 朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 5. 朝日町体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 6. 朝日町健康増進センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 7. 朝日町秋葉山交遊館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 8. 朝日町農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 9. 朝日町立小中学校の平成 30 年度卒業式及び平成 31 年度入学式について 10. 平成 31 年朝日町教育委員会 3 月臨時会の日程について 11. 平成 31 年朝日町教育委員会 3 月定例会の日程について
平成 31 年 2 月 20 日 総合教育会議	協議	<ul style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度の朝日町の教育の推進について（総括） 2. これからの朝日町の教育の推進について 3. 意見交換
平成 31 年 3 月 7 日 臨時会	附議	議第 2 号 平成 31 年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
平成 31 年 3 月 20 日 定例会	報告	<ul style="list-style-type: none"> 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 平成 31 年度学校教職員の異動について ② 平成 30 年度朝日中学校卒業生の進路先について ③ 平成 31 年度学級編成について ④ 中学生海外派遣事業の募集について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
	附議	議第 3 号 平成 31 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 4 号 平成 31 年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 平成 31 年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 平成 31 年朝日町教育委員会 4 月定例会の日程について

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
平成 30 年 6 月 11 日	朝日町立西五百川小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
平成 30 年 6 月 15 日	朝日町立大谷小学校	
平成 30 年 6 月 19 日	朝日町立宮宿小学校	
平成 30 年 6 月 21 日	朝日町立朝日中学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会（25回）」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 30 年 4 月 2 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 30 年 4 月 2 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 30 年 4 月 7 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 30 年 4 月 29 日	朝日町成人式	創遊館	全員
平成 30 年 5 月 9 日	第 1 回学校運営協議会	創遊館	全員
平成 30 年 5 月 15 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 30 年 5 月 25 日	朝日町教育研究所全体会	創遊館	教育長
平成 30 年 5 月 28 日	第 1 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	井上委員
平成 30 年 6 月 2 日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	教育長
平成 30 年 6 月 20 日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	全員
平成 30 年 7 月 3 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 30 年 7 月 5 日	西村山市町教育委員会連絡協議会	寒河江市	全員
平成 30 年 7 月 9 日	第 2 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	井上委員
平成 30 年 7 月 25 日	教育研究所教育講演会	創遊館	全員

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 30 年 7 月 31 日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
平成 30 年 8 月 3 日	山形県市町村教育委員大会	寒河江市	全員
平成 30 年 9 月 2 日	朝日中学校体育祭	朝日中	全員
平成 30 年 9 月 8 日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	児玉委員、井上委員
平成 30 年 9 月 8 日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	教育長、五十嵐委員
平成 30 年 9 月 9 日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	教育長、村山委員
平成 30 年 10 月 7 日	第 35 回アップル駅伝競走大会	町内	全員
平成 30 年 10 月 27 日	朝日中学校文化祭	朝日中	全員
平成 30 年 11 月 3 日	朝日町芸術文化祭	創遊館他	教育長
平成 30 年 11 月 10 日	あさひ国際交流推進フォーラム	創遊館	全員
平成 30 年 11 月 21 日 ～22 日	朝日町教育委員研修	新庄市、最上地域	全員
平成 30 年 11 月 29 日	青少年育成町民大会 あさひ教育の日講演会	創遊館	全員
平成 30 年 12 月 21 日	朝日中学校総合学習発表会	朝日中	教育長
平成 30 年 12 月 22 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
平成 31 年 1 月 4 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 31 年 1 月 30 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 31 年 2 月 6 日	町長学校訪問	西五百川小	教育長
平成 31 年 2 月 13 日	町長学校訪問	宮宿小、朝日中	教育長
平成 31 年 2 月 14 日	町長学校訪問	大谷小	教育長
平成 31 年 2 月 24 日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
平成 31 年 2 月 28 日	第 3 回学校運営協議会	創遊館	全員
平成 31 年 3 月 16 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 31 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	全員
平成 31 年 3 月 29 日	町退職者辞令交付式	開発センター	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総括

外部評価者の立場は、教育委員会のもつ中立性と専門性の知見に立って妥当性のある事業評価を行っているか、それを受けてより具体的で実施可能な方向性を示しているかなど、評価のあり方全般について客観性をもって概括することにある。

朝日町教育委員会では法律施行後、他市町に比べても早い時期から実施してきたことや、評価方法や活用の手立てなど課題となる点についてその都度修正や改善を加えてきたことから、事業内容や評価事項について理解しやすく洗練されたものに改善されている。

今回も平成30年度分のすべての事務事業に対する自己評価について、報告書並びにヒアリングを通して確認させていただいたが、評価面で特に大きな問題点はみられなかった。概括的には、実施状況と評価並びに今後の方向性がいずれの項目においても簡潔かつ明瞭に述べられており、特に成果と課題がわかりやすく示されている。事業の方向性についても、解決策として考えられる実施可能な手立てを表記したり、事業によっては令和元年度の対応状況を添えたりするなど、自他ともに分かりやすい調書になっているといえる。

2. 教育委員会の活動について

教育委員会は、政治的中立性を保持するために首長部局からは独立した行政委員会になっている。しかし、近年の社会状況の変化によって、保育や福祉など首長の権限に係る事項についても教育行政の関与が求められるようになってきた。具体的には保小中の校種間連携やコミュニティ・スクールによる学校と地域の連携強化、いじめ防止に向けた学校と家庭との連携などがあげられよう。これらの問題を解決するために制度化されたのが「総合教育会議」であり、年々重要性を増している。他市町では1～2回程度の開催にとどまっているケースが多いが、本町では年3回の開催がなされており、協議内容からも首長と教育委員会が地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進しようとする姿勢が伺える。

3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

(1) 全体

多くの事務事業で成果と課題や事務事業の方向性を明らかにし工夫改善が行われていると思う。今後も第2次朝日町教育振興計画の基本方針に基づき課題解決に向けての施策がいつそう推進されることを期待する。

一つひとつの事務事業に取り組むとき「何のために」という事業の目的に照らし合わせながら行うことが、当たり前だがとても大事だと思う。壁に当たった時、またはマンネリになった時、いつでも目的に立ち返り前進されることを希望する。

少子高齢化や人口減少、担当職員の減少などにより、これまでと同じ事業内容を毎年継続するのではなく、事業内容の大幅な整理統合と見直しが不可欠になっていると考える。各事務事業の充実は大切だが、充実だけではなくスリム化が必要とされていると考える。

(2) 学校教育関係

① 教育委員会事務局費

「朝日町いじめ防止等の対策の推進に関する条例」が制定されたが、制度を十分機能させることで児童生徒の安心安全を保障するよう推進していただきたい。当面は予防面に重点を置いた啓発活動に取り組んでいくことが肝要である。具体的な事例をもとにした教職員の研修、児童生徒への指導、保護者へ

の啓発等が必要である。SNSを使ったいじめの事例等について、専門家からの指導やいじめ経験者の講演もぜひ取り組んでいただきたい。

コミュニティ・スクールについて、学校運営協議会、地域学校協働活動、保小中連携をベースに、推進されていることは大変素晴らしいことだと思う。地域活動推進員と連携し、コミュニティ・スクールに関する運用のあり方についてさらに検討され、地域に開かれた学校運営が積極的に推進されていくことを期待する。

② 奨学金貸与事業

新規滞納者の増加は、本事業運営の将来性に関わる大きな問題といえる。対処策として督促通知や返還請求等を実施するとしているが、加えて未納に至る要因分析を行うとともに、貸与時に返還の義務意識を啓発するなど未納防止に向けた取り組みの徹底を図る必要がある。

また、将来、ふるさと納税等を活用した返還の必要がない給付型奨学金制度の導入について、町として検討してほしい。

③ 教育研究所費

学社連携を担う「子育て生徒指導部会」を「あさひ教育の日」と連動させ継続するとの方向性が示されているが、例えばコミュニティ・スクールの取り組みともリンクさせるなど、より多角的に進めることも可能であり、学校と地域が一層連携を強化することによって学校運営面に良い効果を及ぼすことが期待される。ただし、教職員の負担が過重にならないように配慮する必要がある。

教職員の減少に伴う組織の見直しと再編、会議の精選が進んでいるとは思いますが、さらに部会や会議の大幅な改革が必要だと考える。学力向上関係は教務主任会に任せて学力向上委員会を廃止する、子育て生徒指導部会を保小中連携推進部会に移行する等の大幅な見直しと整理統合を検討してほしい。

保小中連携については、他市町よりも連携した活動が推進されていると思う。朝日町の教育課題を把握し、どのような子どもを育て、どのような教育を推進すべきなのか、保小中の全職員が共通理解を進めていくことが今後も大切だと考える。

④ 小学校整備事業費、中学校整備事業費

空調設備設置工事費が予算化され、繰越事業であるが令和元年7月に全教室に設置が完了したことは、学習環境の適正化の面からも望ましいことである。

⑤ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、学習生活指導員の配置は、子供や教員、学校にとっても大変ありがたいことと思う。児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習支援のために、心豊かな子どもを育てるために、また教員の負担軽減のためにも、学習を支援する様々な指導員の配置を今後も願う。

⑥ 外国語活動事業費

中学生海外派遣事業は3回目を迎え、町民にも事業の趣旨が浸透してきたものと思われる。反面、アメリカンBBQやハロウィンのいずれも参加者が前年度より減少している。身近なところで参加できる企画に興味をもたせる工夫をすることで裾野を広げた国際理解教育の推進が図られるようになる。参加者減少の要因を明らかにして、次年度からは参加者が増えるように手立てを講じることが望まれる。

優秀な現ALTにより、保・小・中で、充実した外国語活動が推進されていると思われるが、令和2年度からの新学習指導要領では、小学校での英語に親しむための外国語活動が拡充されるのに鑑み、令和元年8月からALTが2人体制に増員されたことにより、国際理解や外国語活動や英語教育がよりいっそう充実することと期待する。保育園でもALTによる英語学習は大変人気がある。また、あさひ国際交流推進フォーラムは、国際交流の推進と充実につながる大変素晴らしい試みだと思う。

(3) 生涯学習関係

① 文化財保護費

大沼の浮島は保存整備計画が策定され、今後10年間の整備指標として令和元年度から計画的に整備されることは、国の名勝を守るために喜ばしいことだ。

総合的な学習等では地域活動推進員が学校との架け橋となり、町の宝物を子ども達へ伝える活動をより推進していくことができると思う。文化財について学校と連携した事業が大切だと考える。

町報の令和元年8月号で『大沼の浮島』が4頁にわたって大変わかりやすく丁寧に特集されていた。このように多くの頁数を使った特集は、文化財に対して町民みんなの興味関心を喚起し理解を深めることにつながっていると思う。1/2頁や1頁の記事では、その文化財の大切さ価値についてよくできないと思う。これからも年に何回か町報の文化財特集があればいいと思う。

② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

中部公民館の子ども会育成会連絡協議会事業との連携並びにミズノ連携事業の参加者拡大、秋葉山交遊館の冬季間ロビー開放など、これまでの事業の見直しと新たな事業の掘り起こしが地域に活性化を育む起爆剤となりうることを意識して公民館事業の改革に取り組んでいただきたい。

以前より公民館職員も減ってきており、これまでと同じように公民館事業を続けていくことはかなり難しいのではないのか。特色ある公民館の事業は残しながら、中部・西部・北部公民館事業の整理統合を図るべき段階に入っていると思う。北部公民館の事業に西部地区の人が参加し、西部公民館の事業に北部地区の人が参加すること等も検討していいのではないかと考える。スリム化が必要である。

高齢者教育(各地区大学)、高齢者福祉(長寿クラブ)、健康長寿(元気クラブ)の対象が同じであることが様々な問題となっている。益々高齢化率が高くなる中、高齢者にとって「学びやすく」、「自主団体として」、「いつまでも健やかに」が本旨だ。長寿クラブの廃止により、「寿大学での受講が出来なくなった」と残念がる声が聞かれる。地区長寿クラブの再結成と維持に対し社会福祉協議会と連携し支援はできないのか検討を願う。

③ つながり育てる人材育成事業

前年度に続き「高校生のための次世代リーダー養成塾」への参加希望者がなかったことを踏まえて、新たな企画に移行する機会ととらえていく必要がある。

④ 保健体育総務費

ミズノと連携した事業の推進は他の市町にない特色ある素晴らしい事業だと思う。(中央公民館事業)『中田久美トークショー』は、テレビではわからない本人のバレーボールへの情熱や経験、スポーツに対する考え方も教えていただいた貴重な講演だった。また、(保健体育総務費)小学校走り方教室、中学校コンディショニング教室の開催も大変素晴らしい試みだ。これからもミズノと連携しスポーツや『健康な体づくり』を教育委員会、健康福祉課、町全体で事業を推進してほしい。

健康の維持や増進のために広くスポーツは行われているが、始めるきっかけとして総合型スポーツクラブは有効だ。現在はほぼ女性対象であり、男性向けや混合教室の実施を望む。

IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
中学校スクールバス購入事業	教育文化課学校教育係	19
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	20
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	21
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	22
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	23
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	24
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	25
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	26
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	27
創遊館管理費	教育文化課スポーツ振興係	28
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	29
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	30
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	31
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	32
図書館費	教育文化課生涯学習係	33
文化振興費	教育文化課生涯学習係	34
保健体育総務費	教育文化課スポーツ振興係	35
体育施設管理費	教育文化課スポーツ振興係	36

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員 5人 ・定例教育委員会12回開催、臨時会1回開催、附議事件20件 ・総合教育会議3回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（寒河江市）7/5 ・山形県市町村教育委員大会（寒河江市）8/3 ・教育委員視察研修（最上地区）11/21～11/22 ・各校学校訪問 西小6/11、宮宿小6/19、大谷小6/15、朝日中6/21 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,423,000	決算額	1,262,075	差引額	160,925
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○先進地視察や他教育委員会との交流などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。</p> <p>○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会との情報共有を図ることができた。</p> <p>○教育研究所の事業と連携しながら学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開 ・第21回小中学生ひめさゆり俳句大会（417人、1,096句） ・令和元年度入学児童（対象者42人）を対象に就学時健診（10/3）を実施 内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査 ・教育支援委員会を3回開催 ・県費教職員健康診断（全員受診） ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施「講演会・チラシの配布」 ・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間45日） ・臨時職員（事務補助）を1人配置 ・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催 ・朝日町いじめ防止等の対策の推進に関する条例の制定
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	9,392,000	決算額	7,797,360	差引額	1,594,640
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○第2次朝日町教育振興計画が単なる計画にならないように、その実施計画の作成と目標値の管理を行っている。 ○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い地域学習をスムーズに行うことができた。（平成30年度に「小中学校教育振興費」から関係予算を移動した。） ○学校運営協議会を開催し、学校の課題等について熟議を行うことができた。また、その内容をコミュニティ・スクール通信を発行し広く周知した。 ○「いじめ防止等の対策の推進に関する条例」を制定し、「いじめ防止基本方針」の策定や「いじめ問題対策連絡協議会」等の組織及び運営に関し必要な事項を定めた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の管理は施策の大きな目安となることから、継続して行い関係機関に周知する。 ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。 ・教職員の事務内容の把握等を行い、校務支援ソフト等の導入を検討していく。 ・第2次朝日町教育振興計画に基づいた目標値の管理を行っていく。 ・学校運営協議会と地域学校協働活動を通して、地域と学校の連携を図りコミュニティ・スクールを推進していく。 ・いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進していく。「いじめ問題対策連絡協議会」において、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携していじめ防止に当たる。また、学校においては、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査により早期発見・迅速対応を行えるように指導していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ板による周知（2月） ・奨学金貸与申請者の審査会 6/12（新規貸与者5人） ・貸与件数18件 H30 貸与額5,760,000円 ・返還件数65件 H30 返還請求金額9,162,200円 ・滞納件数12件 2,599,000円 ・年度末基金残高 101,429,798円 <li style="padding-left: 20px;">うち 現金 30,297,348円 <li style="padding-left: 20px;">貸付金 71,132,450円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	21,000	決算額	8,921	差引額	12,079
-----	--------	-----	-------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。</p> <p>○返還請求に対して、返還金が滞りつつある貸与者が数名いるが、それ以外は返還計画を立て計画どおり返還できている。</p> <p>○奨学金システムを活用することで効率的な管理ができている。</p> <p>△昨年度より新規の滞納者が増加しており、さらなる滞納対策が必要となっている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。（月賦払い、半年賦払い、年賦払い） ・個人情報の漏えいなどが生じないよう十分なセキュリティ管理に留意していく。 ・滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（地域連携推進 13 人、特別支援教育 12 人、外国語教育 11 人、ICT教育 14 人）を 2 回開催 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 3 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催） 学力向上委員会 9 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 20 人 2 回開催 読書活動推進委員会 13 人 2 回開催 保小中連携推進部会 15 人 教育講演会 講師：吉田 誠 氏「これからの道徳について」 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/26 参加者 16 人（宮宿・和合・北部地区） ・朝日町教育委員会指定研究校 西五百川小学校 1 年次 負担金 10 万円 ・NRT 検査、知能検査（4 月）、CRT 検査（1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。 ・教育研究所所報（第 21 号）を発刊（事業の経過を掲載）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,132,000	決算額	2,026,070	差引額	105,930
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。また、学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>○学力向上委員会では、授業力向上について、教職員の研修、学校研究の情報交換ができています。また、各校の取り組みを情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。</p> <p>○他市町にはない子育て生徒指導部会では、『育てよう生きる力』～地域との関わりを広げよう～の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連携事業として生活キャンペーンの講演会やチラシを配布し広く周知できた。</p> <p>○ICT教育部会の中で ICT 機器の活用促進を話し合い、各校でデジタル教科書や大型テレビ等の活用が推進された。</p> <p>○第 2 次朝日町教育振興計画に合わせ、教育研究所の組織の改編を行い、現状の課題に沿った部会編成にすることができた。</p> <p>△喫緊の課題への対応のため、会議等が増え学校の負担が大きくなっている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会各校の学力向上対策が話し合われ、学校研究等、授業改善についての研修・情報交換を行い、担任力の向上にむけて今後も取り組んでいく。（令和元年度は 2 回開催予定） ・学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、テーマの見直しを検討していく。 ・教職員の負担が増えないよう会議の精選を図っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

<p>・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料921,967円、水道料55,422円</p> <p>【現在の使用状況】</p> <p>旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、4人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用</p> <p>旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の收藏場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係）</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,196,000	決算額	1,002,505	差引額	193,495
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。</p> <p>○平成30年度から、旧水本小と旧上郷小校舎の管理を、廃校施設の利活用・処分を担当する総務課に完全に移行したため、より効率的な施設管理が図られた。</p>

6. 事業の方向性

<p>・使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導 ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,918,000	決算額	18,920,457	差引額	997,543
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等を引き続き呼びかけ、今後も周知徹底を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・光熱水費、通信運搬費について月別状況を配布し、節電・節水を指導 ・臨時職員（事務補助）を継続して1人配置

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,183,000	決算額	9,835,569	差引額	347,431
-----	------------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・節電、節水等の呼び掛けを今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医5人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 西小6/19、宮小7/10、大谷小7/11
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,540,000	決算額	2,325,429	差引額	214,571
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受検者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 7/11

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,374,000	決算額	1,152,411	差引額	221,589
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受検者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 69人 (25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行による通学 (三中線：臨時職員 和合線・上郷線：業者委託) 立木・太郎地区4人、三中地区6人 (下校4人)、上郷地区17人、和合地区17人、沢内地区7人、大暮山2人 (立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用) ・タクシー運行による通学 (業者委託) 立木方面 (下校)、和合平 (登校) 1人、沢内方面 (下校)、雪谷 (登下校) 1人 大暮山 (下校) 2人、赤釜 (登下校) 1人、沼ノ平 (下校、冬期間登校) 2人、中沢 (冬期下校) 4人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,587,000	決算額	9,126,436	差引額	1,460,564
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手との連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 98 人 (65%) ・スクールバス 3 台運行 松程線 臨時職員 (13 人、冬期は能中・川通 5 人) 大沼線 臨時職員 (1 人) (下校時のみ 4 人、冬期下校のみ 11 人/登校時は小学生と同乗) 立木線 臨時職員 (9 人、冬期のみ 5 人) 上郷線 業者委託 (4 人、冬期下校のみ 1 人) (小学生と同乗) 和合線 (5 人) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線) ・スクールタクシー和合平線 (1 人、下校は大沼線) ・山交バス (北部地区 30 人、冬期間大隅 2 人、冬期間登校和合地区 11 人) ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,921,000	決算額	15,918,763	差引額	3,002,237
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。</p> <p>○平成 30 年度から冬期間下校のみ乗車していた地区を冬期間の登下校乗車に変更した。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手との連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<p>委託関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小：学校施設劣化調査 3,888,000 円、空調設備設置工事設計 2,376,000 円 ・宮小：ベランダ修繕工事設計 972,000 円、ベランダ修繕工事監理 486,000 円、空調設備設置工事設計 3,186,000 円 ・大谷：空調設備設置工事設計 2,862,000 円 <p>工事関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮小：ベランダ修繕工事 11,610,000 円、プールサイドブロック塀改修工事 2,592,000 円 ・大谷：教室網戸設置工事 918,000 円、調理室温水器設置工事 460,080 円 <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備設置工事 全教室へ設置（令和元年度へ繰越し実施） 繰越額 工事費 74,397,000 円、監理費 5,079,000 円 国庫支出金 14,023,000 円、地方債 46,200,000 円 <p>備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校校務用パソコン整備 4,052,484 円 ・食缶、テント、職員室イスなど <p>他、各小学校へ小規模修繕の予算配当</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	164,236,000	決算額	83,569,459	差引額	80,666,541
-----	-------------	-----	------------	-----	------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○夏の暑さ対策として全教室へのエアコン設置工事を開始した。 老朽化した灯油F式暖房器から、冷暖房エアコンで冬季の暖房に対応できる機種を選定した。</p> <p>△西五百川小学校校舎（S54）、宮宿小学校校舎（S55）は建築年が古く、老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、町の実施計画（3年間）に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。（空調、油管、水道、排水管等） ・当面の方向性としては、経費の抑制を考慮し、新築ではなく改修による施設の長寿命化を図っていく。 ・全教室へのエアコン設置工事を実施し、冷暖房ともにエアコンを使用する。 （令和元年7月に全教室に設置済、教室以外の部屋は令和元年度予算で実施中）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・委託関係 グラウンド簡易トイレ維持管理 154,440 円、礼法室エアコン設置工事設計 199,800 円 空調設備設置工事設計 4,644,000 円 ・工事関係 礼法室エアコン設置工事 1,998,000 円、理科室・CP 室床張替工事 3,780,000 円 ・空調設備設置工事 全教室へ設置（令和元年度へ繰越し実施） 繰越額 工事費 50,798,000 円、監理費 2,856,000 円 国庫支出金 10,046,000 円、地方債 33,100,000 円 ・備品購入 加湿器 10 台 291,600 円 他、中学校へ小規模修繕の予算配当

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	99,238,000	決算額	45,367,501	差引額	53,870,499
-----	------------	-----	------------	-----	------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○夏の暑さ対策として全教室へのエアコン設置工事を開始した。</p> <p>老朽化した灯油 F F 式暖房器から、冷暖房エアコンで冬季の暖房に対応できる機種を選定した。</p> <p>△校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p> <p>△屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・平成 29 年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設・設備を計画的に改修していく。 ・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築については町の実施計画（3 年間）に計上し整備を検討していく。 <p>なお、屋外部室の管理については、改修されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教室へのエアコン設置工事を実施し、冷暖房ともにエアコンを使用する。 <p>(令和元年 7 月に全教室に設置済、教室以外の部屋は令和元年度予算で実施中)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3、児童数276人【19クラス（内特別支援4クラス）】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、各校 280,000円を上限に補助。 （西小280,000円、宮小278,409円、大谷小279,340円） ・小体連陸上（5/15）、水泳記録会（7/3）【参加児童106人】 ・海の子山の子交流事業 宮宿小学校⇄七ヶ浜町立松ヶ浜小学校 ・各校の教材備品、一般備品の購入1,648,022円 ・芸術鑑賞事業補助430,000円 ・準要保護対象者17人、特別支援教育就学奨励該当者7人 ・学習生活指導員（西小2人・宮小3人・大谷小3人）、読書活動推進員（1人） ・宗生文庫基金による図書購入678,371円、年度末基金残高15,194,731円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,560,000	決算額	17,808,298	差引額	1,751,702
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学習生活指導員の配置により、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校でしており、朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施できた。</p> <p>○読書活動推進員は、各小学校を巡回しながら図書室の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>△特別な支援が必要な子どもへの対応を行う際には、保護者の理解や協力を得ていく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・少子化による複式学級の設置状況を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。 ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。 ・障がいを持つ児童特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、保護者、学校、行政が情報を共有し、理解と協力を得られるべく努力していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中学校 生徒数 150 人【7 クラス(内特別支援 1 クラス)】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、上限額の 660,000 円を補助 ・教材備品及び一般備品の購入 1,388,937 円 ・県大会、東北大会、全国大会派遣 558,000 円 ・部活動補助 600,000 円 ・準要保護対象者 12 人 ・特別支援学級奨励対象者 1 人 ・学習生活指導員 2 人、読書活動推進員 1 人を配置 ・スクールカウンセラー 2 人配置
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,532,000	決算額	9,328,629	差引額	1,203,371
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入し、授業での活用により、生徒の学習意欲の向上が図られた。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○県大会、東北大会、全国大会への派遣補助により、生徒の意欲向上と保護者等の負担軽減を図ることができた。</p> <p>○読書活動推進員は、図書室の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>△不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学習生活指導員の配置をしていく。 ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。 ・不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業を活用して、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度に小学校学習指導要領が、平成 24 年度に中学校指導要領がそれぞれ改訂され、理数系のほか語学が強化されることとなり、特に小学校 5・6 年は必修領域外国語活動となったことから、従来の JET 利用の ALT では不安要素が大きく、町単独で現 ALT を招致している。 現 ALT はアメリカの伝統行事による異文化体験を企画実施し、国際交流の進展にも寄与しており、平成 28 年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となり事業を行っている。 <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカン BBQ 7/7 (小学生 9 人参加) ・ハロウィン 10/22 (小学生 37 人参加) ・中学生海外派遣事業 8/2～8/9 朝日中 3 年生 6 人 アメリカコロラド州ウィンザー市 アイジー基金を活用した事業 事業費 3,371,000 円 ・あさひ国際交流推進フォーラム 11/10 海外派遣事業の報告 ワークショップ「朝日町における国際交流体験プログラムを考えよう」 これまでの派遣生、外国人のホームステイ受け入れをしている方、国際交流に関心のある町民など 60 人参加

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,380,000	決算額	9,078,561	差引額	301,439
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○ALTとして来日以来 15 年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。</p> <p>○子どもたちに人気があり日本の風土にもなじんでおり、小学生を対象とした国際交流事業も好評である。</p> <p>○中学生海外派遣事業が 3 回目となり、新たな取組みとして「あさひ国際交流推進フォーラム」を開催し、派遣生の活動発表（報告会）、ワークショップでの活発な意見交換ができ、学校、地域（町民）、行政が協力しあい国際交流の理解を深めることができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・現 ALT を今後も継続して雇用するとともに、新たに外国語指導助手を雇用し、令和 2 年度からの英語の教科化への対応、外国語活動や英語教育の充実を図っていく。（令和元年 8 月から雇用、2 人体制へ） ・国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を強化していく。 ・現 ALT の安定的な雇用のため契約内容などの検討を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間180日～190日 給食の食材は保護者負担 1食280円 ・週4回米飯、1回パンまたは麺類 ・献立作成会議を年10回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会2回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月19日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に対応した給食を提供 (西小1人、宮小5人、大谷小2人) (除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,625,000	決算額	5,646,816	差引額	978,184
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○1件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン(H17～21)で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。 ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・(有)地球耕望に副食給食を委託 11,880,000 円 (複数年契約) ・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円 ・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	11,905,000	決算額	11,902,958	差引額	2,042
-----	------------	-----	------------	-----	-------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供することができた。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう柔軟に対応していく。 ・食物アレルギー対策として、小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス購入事業費
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ひめさゆり1号の更新 車両価格8,586,000円（29人乗り、4WD） 他、手数料、公課費、保険料、消耗品

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,955,000	決算額	8,846,918	差引額	108,082
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○老朽化したスクールバスを更新したことにより、安全で快適な通学ができるようになった。
--

6. 事業の方向性

・年次計画によりスクールバスを更新していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 7人 (男5人、女2人) ・社会教育委員会の開催 (8/29、3/26) ・社会教育委員会で協議した内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 朝日町社会教育の課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の社会参画の在り方 ② 子ども・若者の地域活動参画の在り方 ③ 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ④ 文化財の保護と活用 ⑤ 社会教育、社会体育施設の老朽化 (2) 課題に対応するための重点取り組み <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 芸術文化活動の育成支援 ④ 文化財保存整備及び歴史や文化財に関する啓発活動等 ⑤ スポーツを通じた人材育成 ・山形県社会教育研究大会 10/12 3人参加 (米沢市) ・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響) ・社会教育団体活動補助金(子ども会連絡協議会 199,000円) ・臨時職員賃金、共済費 (創遊館業務員)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,832,000	決算額	2,476,682	差引額	355,318
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○社会教育委員会の開催は計画に沿って開催することができた。</p> <p>△社会教育委員会は、事業計画及び実施状況について、適正に助言しているが、時代の変化に合わせて社会教育に対する課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員 5人(5人以内) ・文化財保護委員会 (6/19、11/20) ・文化財保護委員視察研修 (1/23～24) 茨城県：旧茨城県立太田中学校、旧水海道小学校 福島県：旧福島尋常中学校 ・指定文化財保護事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 佐竹家住宅管理費補助 90,000円 水口十一面観音堂管理費補助 50,000円 大沼の浮島整備補助（散策路整備、取水口整備、保存整備計画策定等国庫補助事業） 1,020,000円 大沼周辺整備（水没木引揚、散策路清掃） 186,908円 角田流獅子踊（大谷・八ツ沼）伝承補助 100,000円 浮嶋稲荷神社管理費補助 12,000円 豊龍の大スギ枝折箇所切除及び殺菌・防水処理補助 45,000円 ・旧三分校施設管理委託（八ツ沼区） 100,000円 ・文化財等保護調査（ハッチョウトンボ）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,516,000	決算額	2,225,430	差引額	1,290,570
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島整備については、これまでのワークショップや調査結果を基に保存整備計画を策定した。今後、10年間の整備の指標となるものであり、令和元年度から計画的に整備を行うことができるようになった。</p> <p>△大沼の浮島については、引き続き水源確保、水量・水質低下、ナラ枯れ等への対策が必要である。</p> <p>△文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進し、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・大沼浮島保存整備委員会を設置し、計画に則って整備を適切に進めていく。 ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん専門員2人を配置 ・町史及び町史資料頒布 ・最上絵図等4点撮影・原寸印刷 68,000円 ・文化財保護、民具の利活用等 創遊館フォーラムにて実施 ①「初夏の養蚕民具展」6/15～7/20 ②「遠藤貞悦氏宅の民具展・絵図展示」2/15～2/28 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見るくらし～ 10/17～11/28 計6回 (受講者9人)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,000,000	決算額	2,791,328	差引額	208,672
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町史編さん専門員による、町史関係資料の収集ができた。収集・解読中の資料を朝日町史編集資料第35集発行に向けて編集中。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。 ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査の体制を整備する。 ・古文書講座は、様々な対象者を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議（委員 22 人） 総会 8/22 青少年育成町民大会 11/29 約 240 人（あさひ教育の日との連携事業） 記念講演：『子どもを一人前に育てるのは大人の責任 体力・学力の向上は生活習慣の立て直しから』 講師：静岡産業大学副学長・経営学部教授 小澤 治夫 氏 ・青少年指導センター（委員 20 人） 会議（7/18）、街頭指導（8/31、3/6～8）、研修会（11/29） ・青少年育成推進員活動（委員 7 人） 会議（7/18、8/28、2/2）、青少年事業への活動補助 「わくわく体験事業」芋煮・アップルパイ作り（10/26）参加者 5 人
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	845,000	決算額	491,883	差引額	353,117
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○青少年の健全育成を推進する団体が協力し合い、青少年育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を周知し、現在の子どもの抱える問題や解決策についての役割等について確認できた。</p> <p>△街頭指導では、特に目立った事項は見当たらなかったが、単純な目に見える非行から、SNS やインターネットを利用した見えない非行へ変わっており、学校・家庭だけでなく地域全体で子どもたちの「生きる力」を育む必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・問題、課題の変化に対応するため「青少年育成町民会議」の在り方や「青少年育成町民大会」の開催内容について見直し、その内容で実施する。 ・あさひ教育の日推進事業など学社連携により、問題へ対応していく。 ・街頭指導について、青少年指導センターが見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等を継続して行っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・改修工事補助金	①送橋公民館	事業費	324,000円	補助金	129,000円	(40%以内)
	②栗木沢公民館	事業費	268,568円	補助金	80,000円	(30%以内)
	③石須部公民館	事業費	90,417円	補助金	36,000円	(40%以内)
	④今平公民館	事業費	356,400円	補助金	178,000円	(50%以内)
	⑤接待公民館	事業費	413,132円	補助金	206,000円	(50%以内)
	⑥水本公民館	事業費	1,005,134円	補助金	603,000円	(60%以内)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,232,000	決算額	1,232,000	差引額	0
-----	-----------	-----	-----------	-----	---

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成29年4月1日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。</p> <p>△昭和に建築された自治公民館が多く老朽化に伴い改修や改築等が必要な公民館が多くなってきていると共に、各集落とも高齢化率が高くなってきており、安全で安心して利用できる公民館が望まれている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者・障がい者にやさしい避難所の環境整備事業」と連携し推進する。 ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で受け止め、協議や具体的な支援の確保に向けて早めに動きだせる体制をつくる ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的に支援を行ないつつ、問題や課題を把握する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・中央兼中部公民館運営審議会 (3/26) ・家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…やまがた子育て講座 (6/9 宮小 100 人、7/19 大谷小 60 人、7/23 西小 29 人、7/24 朝日中 215 人) あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 4 回 親子延べ 456 組) ・青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…成人式: 4/29 参加者 45 人 (対象 58 人) ボランティア育成 (中学生…きらり 11 人、高校生…JOKER 8 人: ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等) 中部公民館事業…子ども会育成事業 (第 26 回綱引き大会 3/21 248 人) ・女性教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 9 回 参加者 132 人、女性まつり 12/1~2 約 190 人 ・成人教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…ふるさと歴史教室「古文書講座」 10/17~11/28 計 6 回 (受講者 9 人) 朝日町子ども会育成連絡協議会研修会 11/29 約 40 人 第 31 回生涯学習推進大会 2/24 「中田久美氏トークショー」約 500 人 ・自治公民館 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修 (酒田市大沢地区) 10/11 参加者 31 人 公民館報発行奨励金交付事業 17 館、自治公民館研修会等共催支援事業 4 館 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 (創遊館ホール) 10/14 21 人 ・高齢者教育 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 2/28 中部公民館事業…寿大学 (講話等 3 回 社会学習 1 回 延べ 271 人)
--

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,915,000	決算額	1,208,022	差引額	706,978
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町民ニーズに合った事業展開を行うことができた。</p> <p>○生涯学習推進大会にミズノ連携事業「中田久美氏トークショー」を組入れたことで多くの町民から参加いただいた。</p> <p>△固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>△今後も公民館職員だけでなく、住民参画の企画・運営を進めていく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の充実を図るため、幼少期から高齢期まで幅広く町民の学ぶ機会を提供するとともに、町民のニーズや町民の声を生かした企画を進めながら、事業を見直していく。 ・子育てに忙しい年代や、成人男性のニーズに応える学ぶ機会をつくる。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (5/29、3/26) ・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 36人、子ども会交流事業 2回 100人、青年教室2回とも中止、楽笑楽生こうざ(女性) 4回 40人 ・成年教育…成人講座「陶芸教室」 2回 16人、筆ペン講座 1回 14人、チャリティーグラウンド・ゴルフ大会 10/20 参加者 72人、自治公民館長主事研修会 6/17 28人、第25回西部地区スポーツフェスティバル 8/26 534人(ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ) ・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 4回 22人 延べ61人 ・第54回町芸術文化祭展示発表会 11/3~4 約290人(来場者) ・「西部公民館だより」発行 5回(5/1、7/13、8/31、10/1、1/1) ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	567,000	決算額	389,460	差引額	177,540
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続して実施している事業でもあり、参加者から好評を得ている。また、子ども会交流事業と併せて宿泊体験を実施しているが、普段できない体験ができるため、参加者や保護者、西小から好評を得ている。</p> <p>○事業の周知方法等の見直しで、新たに組回覧を実施した結果、西部地区内からの新規参加者が若干だが増えている。</p> <p>△高齢者教室(高砂大学)は参加者から好評を得ているが、新規参加者の確保が難しく、参加者が減少している。</p> <p>△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。</p> <p>△青年教室(フットサル交流会)は2回開催を予定していたが、フットサル競技人口の減少により参加チームが少なく開催できなかったため、事業のあり方について検討する必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。 ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。 ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、地区民の交流を促進する機会となっており、継続開催していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会 (5/17, 3/12) ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員 26 人 達人倶楽部 20 人 延べ隊員 143 人 述べ達人倶楽部 67 人 参加 (流しそうめん、カヌー、ハイキング、そば打ち、夏・冬キャンプ等 9 回) …子ども会育成会事業 「交通安全教室」 19 人 「蜜ろうキャンドルでスーランタンをつくろう」 21 人 ・高齢者教育…睦大学 4 回 102 人 延べ 287 人 ・成人教育 …自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1 回 26 人 …第 14 回北部地区レクリエーション大会 9/9 (グラウンド・ゴルフ, ソフトボール, ビーチボールバレー, 輪投げ) 500 人 …そば打ち教室 2 回 14 人 述べ 16 人 …いきいき元気すつきり体操教室 3 回 21 人 述べ 42 人 ・女性教室 …蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1 回 20 人 ・第 54 回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表、移動芸能発表会 380 人(来場者含む) ・秋葉山交遊館 ロビー開放 (冬季) …2/5(火)～3/19(火)の火曜日と木曜日 計 13 日間 23 人 (※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放) ・その他、共催事業等 …ひまわりサロン (高齢者等の交流居場所づくり) 活動支援、 …交遊たのしい子ども教室 (生け花体験等) 共催 …秋葉山さくら回廊等整備作業 (6/10, 7/2, 7/10, 11/25)、計画素案検討 (2 月北部区長会にて) (農林振興課にて、四阿階段補修、安全柵修繕、遊歩道改良、間伐を実施) ・「北部公民館だより」発行 4 回 (4/16, 8/1, 9/14, 2/1) ・北部区長会や子ども会育成協議会など 5 団体の関係団体事務局担当
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	538,000	決算額	410,045	差引額	127,955
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小より好評を得ている。また、地域の大人達で組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。</p> <p>○高齢者の事業として、「睦大学」を行っており、向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流にもつながっている。</p> <p>△睦大学について65才以上を対象としているが、その中の若い年代の方の参加割合が少なく課題である。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を見直しながら、更に青年層の事業、世代間交流事業を充実し、事業参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。 ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。 ・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課スポーツ振興係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成） ・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理2,374,515円、清掃業務2,953,638円、エレベーター点検48,600円、空調設備1,620,000円、ピアノ保守管理96,000円、ホール管理1,812,000円、自動ドア76,896円、警備保障181,440円、舞台装置486,000円、特殊建築物定期報告239,760円、環境衛生・貯水槽清掃598,320円 ・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕857,369円 （ホールCDプレイヤー、図書館子供イス張替え、町史編さん室照明、ギャラーフロリング、エレベーター無停電装置交換、消防用設備等修繕、浄化槽、時計バッテリー、小便器、草刈機など） 劣化診断結果に基づく応急修繕4,624,560円 （クールチューブ配管、フォーラムピット内FS-3（有圧扇）、調整室系統パッケージエアコン室外機・室内機、屋内消火栓設備不良カ所、FE-11・18不良（換気扇・送風機）、受水槽漏水、2階男子トイレ手洗自動水栓、図書館西・南面シーリング、ライブラリー東側雨水排水、排煙機（FSM-2）分解修理） 創遊館駐車場枠設置工事842,400円 創遊館芝生広場暗渠排水工事4,438,800円 ・空調設備改修工事設計支援業務委託2,623,320円 ・芝生広場の管理ほか ・創遊館の貸出 H30年度 利用件数1,608件 利用人数26,154人（町民1人当たりの利用回数3.82回）（6,811人） H29年度 利用件数1,530件、利用人数23,813人（町民1人当たりの利用回数3.37回）（7,020人） ※町民1人当たりの利用回数=利用人数/年度末日現在の人口（他も同様）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	37,418,000	決算額	34,972,248	差引額	2,445,752
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修している。</p> <p>△電子機器の経年劣化による不具合が生じ始めており、計画的な交換が必要となっている。</p> <p>△年数の経過と共に供給を受けられない部品や機械が出始めている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、計画的な施設修繕を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理 ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンド・ゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。 ・年間利用者：H30年度 西部公民館 1,999人、健康増進センター 4,918人、西部地区総合運動場 1,829人、熊ノ山農村公園 5,869人、計 14,615人（町民1人当たりの利用回数2.15回）（6,811人） （H29年度 西部公民館 2,375人、健康増進センター 3,571人、西部地区総合運動場 1,731人、熊ノ山農村公園 5,642人、計 13,319人（町民1人当たりの利用回数1.90回）（7,020人）） ・熊ノ山農村公園木製階段修繕工事 496,800円 ・西部公民館街路灯等LED化改修工事 444,960円 ・西部地区総合運動場木製階段修繕工事 1,112,400円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,817,000	決算額	5,194,540	差引額	622,460
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。</p> <p>△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成） ・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備セコム（168,480円） ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理。一部、シルバー人材センター等に委託（345,935円）。 ・秋葉山交遊館 吹抜外部改修工事 2,239,920円 ・秋葉山交遊館 外灯LED化工事 302,400円 	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数・件数： ・交遊館の貸出 H30年度 利用件数300件、利用人数4,409人（町民1人当たりの利用回数0.64回）（6,811人） H29年度 利用件数332件、利用人数5,969人（町民1人当たりの利用回数0.85回）（7,020人） ・トキメキ体験館 H30年度 利用件数12件、利用人数126人（ ” 0.02回）（6,811人） H29年度 利用件数16件、利用人数122人（ ” 0.02回）（7,020人） ・多目的広場 H30年度 利用件数106件、利用人数3,451人（ ” 0.50回）（6,811人） H29年度 利用件数73件、利用人数3,065人（ ” 0.43回）（7,020人） ・北部体育館 H30年度 利用件数81件、利用人数1,542人（ ” 0.23回）（6,811人） H29年度 利用件数88件、利用人数1,480人（ ” 0.21回）（7,020人） ・秋葉山グラウンド H30年度 利用件数52件、利用人数1,385人（ ” 0.20回）（6,811人） H29年度 利用件数41件、利用人数943人（ ” 0.13回）（7,020人） ・合計 H30年度 利用件数551件、利用人数10,913人（町民1人当たりの利用回数1.60回）（6,811人） H29年度 利用件数550件、利用人数11,579人（町民1人当たりの利用回数1.64回）（7,020人） 	

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,992,000	決算額	6,312,819	差引額	679,181
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。</p> <p>○木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子供達が利用している。</p> <p>○多目的広場では、地区民のグラウンド・ゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。</p> <p>△施設完成から20年を超え、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。</p>

6. 事業の方向性

<p>・随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室推進事業の実施 コーディネーター1人配置 きらきらスクール（宮小） 93日、延べ1,076人 放課後サポーター 21人 のびのびスクール（西小） 120日、延べ4,790人 放課後サポーター 15人 どきどきスクール（大谷小） 139日、延べ 585人 放課後サポーター 22人
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,325,000	決算額	1,632,427	差引額	692,753
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町内の3つの小学校で年間を通して開設。サポーターの方による放課後の安全な居場所づくりが図られ、学校との連絡調整を密にしたスムーズな運営体制、子どもの安全な見守り体制づくりができた。</p> <p>△コーディネーターによるサポーターの調整や業務の負担が増える傾向にある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心に、新たなサポーターの確保と、サポーター同士のつながりを強める。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>「New アクション事業」の実施 応募団体 2 団体</p> <p>【アクション継続資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霹靂祭 代表 小林純恵氏 (7 人) チャレンジ3年後の1年目 補助金 400,000 円 音楽フェスティバル開催に伴い地域の賑わいの創出 ・星の会 代表 成原千枝氏 (10 人) チャレンジ3年後の1年目 補助金 400,000 円 古民家で民話による地域おこしを行ない、交流人口の拡大につなげる <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集 参加者なし</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	800,000	決算額	800,000	差引額	0
-----	---------	-----	---------	-----	---

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>△本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、単なる事業補助ではなく人材育成という本来の目的を重視する「New アクション事業」として実施していく必要がある。</p> <p>△「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、周知したが参加希望者なし。毎年の参加希望は難しい状況であり、改善していく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。 ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営 臨時職員 4 人配置 ・利用登録者 4,340 人、うち町外 547 人 (H29 登録者 4,259 人 うち町外 532 人) ・1 日平均貸出約 54 冊 (H29 57 冊)、1 日平均利用者数約 17 人 (H29 17 人) ・図書資料収集…蔵書数 42,535 冊/H30 末 (42,172 冊/H29 末) ・蔵書点検 11/13～18 ・移動図書事業 5 月～2 月 大谷小 (9 回 月 1 回) ・団体貸出 2 団体 りんごっこクラブ (年 11 回)、あさひ保育園 (年 10 回) ・ブックスタート事業 (年 6 回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ ・おはなし会事業 5 月～3 月 (毎月第 2 土曜) 10 回 おはなし会「ぶなの実」と共催 ・10/14 (日) 夜の図書館～見上げてごらん 月と満天の星空を～ 52 人 ・12/8 (土) クリスマス子どものつどい 59 人、12/2 (日) 古本プレゼント 343 冊 ・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎に本の紹介 ・子育て支援コーナー開設

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,879,000	決算額	6,354,755	差引額	524,245
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会等を実施することができた。</p> <p>○幼児期から本に親しんでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を実施することができた。</p> <p>○移動図書事業により、子どもの図書に親しむ機会の充実に寄与した。</p> <p>△図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進のため、新刊の選本の吟味と夏休み等の子ども達の図書館利用に工夫を凝らしていく。 ・上部組織と連携した職員の研修会に参加し、資質の向上を図る。 ・県立図書館との連携を強化、学校の図書室や読書活動推進員との情報交換等連携を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・第54回芸術文化祭 町芸術文化協議会支援 (30 団体、2 個人) 11/3～4 第54回芸術文化祭 11/3 移動芸能発表 (西部公民館) ・「美の探訪」11/8 米沢方面 22人 ・創遊館展示 (ギャラリー) 教科書展示 (6/5～15)、芸文祭展示 (11/3～12)、女性まつり作品展示 (12/1～10)、 寄贈民具・最上絵図展示 (2/15～27) ・芸術鑑賞教室 今井倭子「中学生のためのオペラコンサート」(11/27) ・ホール事業「山響ホリデーコンサート in 朝日町」(1/26) ・中央公民館「文化講座」(2/2、2/14. 28、2/21、3/9)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,213,000	決算額	1,807,469	差引額	405,531
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>△構成メンバーの高齢化や減少に伴い、芸術文化祭の展示品や準備者の確保が年々難しくなっている</p> <p>△ギャラリーの活用がなかなか進まないが、今ある体制では難しい実情がある。</p> <p>△ホール事業の運営については、単年度での運営が難しいため「ニーズ把握、アーティストの依頼時期、チケット販売」等を町民参画で検討する必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考える

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課スポーツ振興係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の設置（委員8人） ・町民登山、町民がラウト・ゴルフ大会など町体育協会主催の各種大会への支援（体育協会加盟団体15団体、会員数533人） ・第35回アップル町民駅伝競走大会の開催（10チーム参加、大谷風チームが優勝） ・県縦断駅伝ほか蔵王坊平Jr 駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会への支援 ・ミズノ連携事業 朝日町総合型スポーツクラブ（Jr マラソンクラブ）等への講師派遣（9/4、1/19） 小学校走り方教室（4/26）、中学校コンディショニング教室（12/3） ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人16件、団体2件）380,000円 ・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 250,000円 ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 930,000円 ・総合型地域スポーツクラブ運営支援（5教室（7コース）65人、Jr. マラソンクラブ 22人） 補助金1,600,000円 ・スポーツ少年団の育成、支援（9団体 団員数104人） 補助金250,000円 ・モンテディオ応援バス借上げ補助 29,000円（大人16人、高校生以下1人）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,381,000	決算額	6,828,848	差引額	552,152
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整えるため、スポーツ推進委員を配置し体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、町民一人1スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組むことができた。</p> <p>○各種スポーツ団体と大会の運営に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。</p> <p>△町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・従来の生涯スポーツの推進に加え、「健康づくり」をテーマとした親しみやすい事業を検討する。 ・町民が気軽にスポーツに取り組めるよう、既存施設を活用しながら用具等の整備を中心に進め、必要な施設や環境の整備を行なう。 ・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。 ・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、各部署で連携内容を検討し様々な事業を展開している。教育委員会においても、小中学校での運動教室の開催や総合型スポーツクラブのJr. マラソンクラブ、家庭教育学級への講師派遣等を行っており、今後も多様な事業を展開できるよう連携を強化し検討していく。 ・スポーツ振興基金は、取り崩しせずに利子を積み立てていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課スポーツ振興係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館の管理委託 2,009,040 円、清掃業務 49,500 円 一般利用人数：H30 8,754 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.28 回） H29 9,796 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.39 回） 他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール【7/14～7/16、7/20～8/26】管理監視業務委託 4,753,728 円、ろ過機保守点検 81,000 円 利用数 2,356 人 中学生以下 1,864 人、高校生以上 492 人（H29 1,815 人） （町民 1 人当たりの利用回数 H30：0.34 回、H29：0.26 回） ・夜間照明（管理業務委嘱）2,000 円 中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブにて使用 ・旧上郷小学校体育館屋根塗装及び渡り廊下解体切り離し工事 12,798,000 円 工期：H30.6.11～H30.9.30（契約日 6/11、完成日 9/21） ・朝日町夜間照明改修工事 14,580,000 円 工期：H30.9.25～H30.10.31（契約日 9/25、完成日 10/25）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	39,826,000	決算額	38,926,604	差引額	899,396
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各体育施設の利用者の増減</p> <p>町民体育館 平成 28 年度から月曜日も開館したことで、以前より利用者が増えているが、平成 30 年度と前年度を比較すると、個人利用者数や利用団体数はほぼ同数だったが、団体毎の利用人数が減少している。</p> <p>町民プール 平成 30 年度は猛暑となったものの、前年度に比べ天候が良かったため利用者が増加した。</p> <p>夜間照明 野球チーム、Jr マラソンクラブ等で例年同様に利用しているが、施設の老朽化（漏電の発生）により改修工事を実施したため、一定期間使用できない状態となった。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。

令和元年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（平成 30 年度分）」

令和元年 8 月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
